

前田小 ICT 研究通信

あきる野市 ICT 活用研究推進校 令和3年2月 No.5

伝え合い、学び合える児童の育成 ～ ICT の活用を通して～

第4回 校内研究授業 国語「ウナギのなぞを追って」

授業者 第4学年1組教諭

★研究主題に沿った児童の姿と、ICT 活用の具体的な手立て



☆個人の考えの出しやすさ☆

タブレットソフトでの意見カード作りは、手書きの付箋に比べて字が読みやすく、容易に作成できるので、付箋と同様、次々に追加することもできた。

文章を書くことに苦手意識がある児童にとっても、自分の考えを練り上げるトレーニングになった。

ミライシードの「オクリンク」は、キーワードカードのコピーや付け加えが容易で、カードの入れ替えもできるので、文章を書くときの流れを考える際に役立つと思われた。



☆ミライシード「オクリンク」による協働学習☆

友達の考えをグループ内で同時に確認でき、気に入った友達のカードをコピーして、自分のところに貼り付けて活用していた。グループ内では、一人ずつ異なる色のカードを使っていたので、友達の意見を取り入れたことが一目瞭然で、分かりやすかった。

最後に全体共有を行うことで、次時への意欲付けもできていた。

第4回 校内研究授業を終えて

「書くことが苦手な児童にも、『書けない、わからない』をなくしていきたい」という、担任の思いが込められた提案性の高い授業展開であった。

タブレットを活用することで話し合うきっかけができたり、意欲の向上につながったり、書き直しの作業がないので、抵抗なく取り組める有効な手立てになると考えられた。

抽出児童の設定方法や Teams を活用した別会場での参観方法など、研究協議会で出されたいろいろな可能性について、来年度の研究につなげていきたい。